

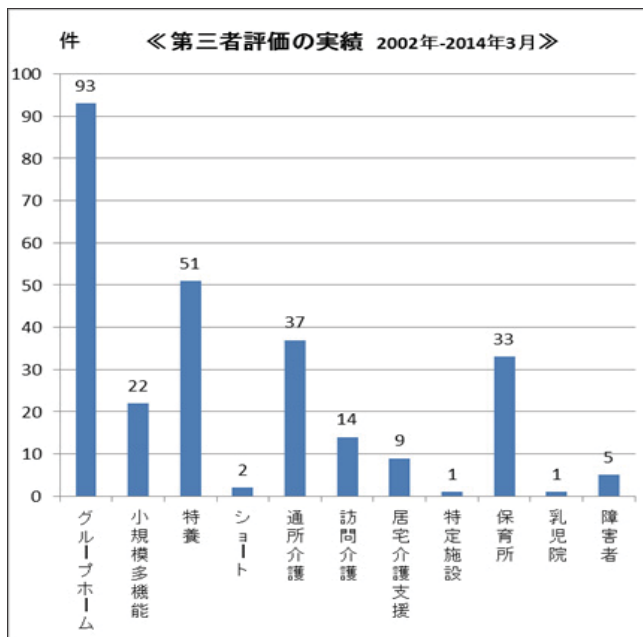
## ひと・まち社の第三者評価

第三者評価は、福祉サービスの質の向上をはかるとともに、利用者が福祉サービスを選択するときにより自分の要望に応じた事業所の情報を得るための道具としてスタートしました。利用者調査と事業所の自己評価の分析をもとに、第三者である評価機関が客観的立場で事業評価を行います。2014年4月現在、125の評価機関に、養成講習を修了した1,491人の評価者が登録しており、年間約2,000の事業所が第三者評価を受審しています。

ひと・まち社では2001年度の試行時から「利用者本位のサービスであること」を大切に第三者評価に取り組んできました。当初より評価室会議を開催し、評価手法や、講評の視点を話し合うなど内部研修を行ってきました。昨年度は、評価推進機構が主催するフォローアップ研修専門コースを10名が受講するほか、介護保険制度の改正、認可保育所見学および業務内容、保育士の責務、評価項目の理解、グループホーム見学など、6回の内部研修に延べ58人が参加してスキルアップを図っています。これまでの評価実績の総数は高齢者229件、子ども・ひとり親34件、障害者・児5件、合計268件となりました。これからも利用者に分かりやすい第三者評価に努めていきます。

評価結果はインターネットの「とうきょう福祉ナビゲーション」から簡単に検索ができますので、ご利用の事業所など検索してみてください。

評価結果はインターネットの「とうきょう福祉ナビゲーション」から簡単に検索ができますので、ご利用の事業所など検索してみてください。



## 第13回総会を終了しました

3月16日に、出席14名、書面表決6名、委任状15通で第13回総会を開催しました。仮認定NPOとしてのはじめての総会となり、規程の整備や今後のひと・まち社の方針について活発な質疑応答が行われ、すべての議案が可決されました。

2013年度はひと・まち社本来のシンクタンクとしての活動が収入につながらず、事業収入の大半が第三者評価事業からとなり、年度決算は123万円のマイナス決算となりました。2014年度は助成金申請を積極的に行い、成年後見をテーマとしたシンポジウムの開催や子育て調査などの活動に力を入れて取り組みます。

また、今年度は役員改選期となり、設立当初から支えて下さった熊崎俊孝理事と、中村映子理事が退任されました。木下伸子さん、渋谷恵美子さんを理事に迎え、新たな体制で活動していきます。認定NPOに向けて引き続き大勢の皆様からのご支援、ご寄附のご協力が必要となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2013年度 活動計算書(1/1~12/31)

(単位:円)

科 目		金 額	
経常収益	会費等	394,000	11,670,977
	受取寄付金	316,000	
	第三者評価	10,220,550	
	調査・研究(情報発信)他	587,000	
	活動サポート・人材育成	147,500	
	その他	5,927	
経常費用	事業費	4,805,550	12,593,042
	人件費	3,750,250	
	委託費	965,335	
	旅費交通費	423,578	
	通信運搬費	97,591	
	消耗品・事務用品費	544,701	
	印刷・広報費	1,748,562	
	家賃・水道光熱費	59,200	
	研修・図書費	69,300	
	租税公課	128,975	
	雑費	252,924	
管理費	57,712	310,636	
当期正味財産増減額		-1,232,701	
前期繰越正味財産		1,397,562	
次期繰越正味財産		164,861	

編集後記：子育ての社会化を考えたときに、親の働き方も重要だ。「ワーク・ライフバランス」をすすめ、子育てを含めた生活全般と仕事や社会活動の両立、自己実現ができる社会をめざしたいが、実際には女性の働き方のみに目が向けられている。「働き方」の意識を変え、男女が共に協力し合い、地域の中で子どもを育てているという実感が持てるような社会に近づけていきたい。(K)